

# 徳川まちなかさんぽ道～歴女も歩けるお手軽コース～

約6.4km 約2時間 約390kcal

※所要時間に見学時間は含まれていません。

1860年代 浜松城主・井上家の地図  
(江戸時代のは赤字、現代のものは黒字で表記)



⑤ 浜松城



⑧ 鎧掛けの松



⑨ 心造寺



⑩ 五社神社



⑪ 松尾神社



④ 浜松元城町東照宮



③ 椿姫観音



② 浜松八幡宮



① 秀忠誕生の井戸

**① 秀忠誕生の井戸**  
二代将軍・秀忠の産湯で使ったとされる井戸の復元。

**② 浜松八幡宮**  
浜松城の鬼門鎮守の氏神として信仰された。境内には三方ヶ原の戦い時に家康が身を隠し、難を逃れた「雲立ちの楠」がある

**③ 椿姫観音**  
引間城主・飯尾豊前守連龍夫人のお田鶴（椿姫）を祀る観音様。椿姫は夫が今川氏真に殺害された後、第5代城主となった

**④ 浜松元城町東照宮**  
引間古城跡、権現様（家康公）を祀る。太平洋戦争で焼失、昭和33年再建。古地図にある東側の二重の堀は今川時代の引馬城の名残

**⑤ 浜松城**  
家康が17年間居城。野面積みの石垣は400余年の歴史を刻む。別名「出世城」

**⑥ 作左の森**  
家康の家臣・本多作左衛門重次が作った曲輪。浜松城公園前交番の裏に「作左曲輪跡」の石碑がある

**⑦ 馬冷**  
徳川軍が合戦で疲れた馬の体を冷やしたところ

**⑧ 鎧掛けの松**  
家康が三方ヶ原の合戦で敗れて帰城し、この松に着ていた鎧を脱いで掛けたといわれる。現在の松は3代目

**⑨ 心造寺**  
二代将軍・秀忠を産んだ西郷の局が開いた寺。家康の側室だった西郷の局は強い近眼だったため薬師如来を祀り治療を祈願

**⑩ 五社神社**  
二代将軍・秀忠の産土神。家光が社殿の造営を指示。当時の浜松城主・高力忠房が造営を指揮し、寛永15年に完成。手水鉢を寄進したと伝えられている。戦前は国宝だった

**⑪ 松尾神社**  
浜松で最も歴史ある神社。家康が城内にあった浜松神社を松尾神社と改名。大正5年に現在地に移す。家康が祭神の一座となり、幕などに「三つ葉葵」の紋の使用が許可された

web上で当コースをご覧になる場合は、こちらからご覧ください。



■作成 / 浜松商工会議所